

# DCダイワ・ワールドアセット

(六つの羽/安定コース)  
(六つの羽/6分散コース)  
(六つの羽/成長コース)

第20期 (決算日 2026年1月13日)

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3719>  
<3720>  
<3721>

# DCダイワ・ワールドアセット (六つの羽／安定コース)

&lt;3719&gt;

追加型投信／内外／資産複合  
日経新聞掲載名：DC六羽安定

第20期 2026年1月13日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、内外の債券、リート（不動産投資信託）および株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第20期末	基準価額	25,422円
	純資産総額	13,293百万円
第20期	騰落率	12.2%
	分配金	0円

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00~17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

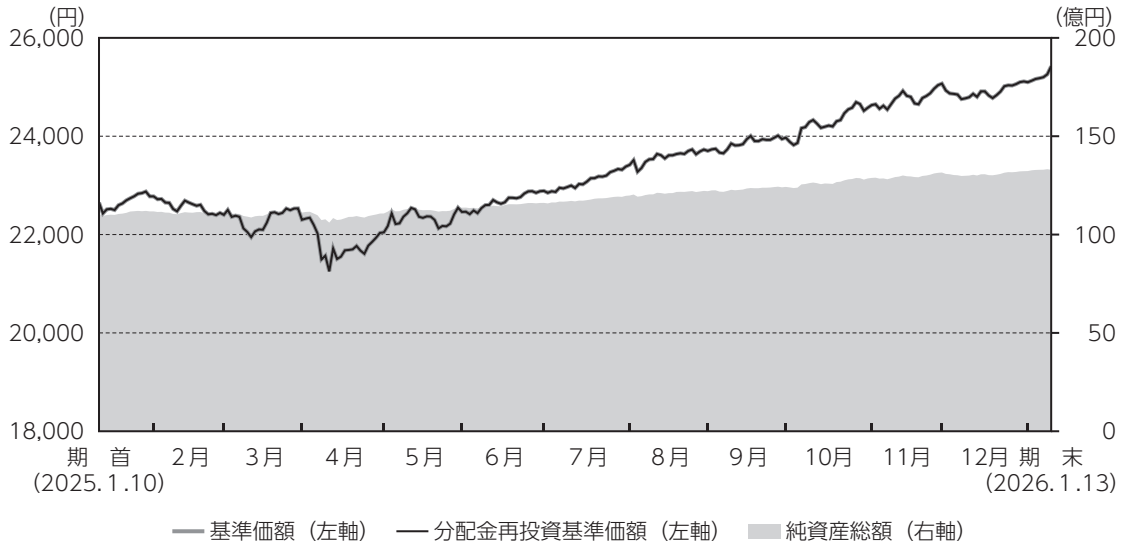
「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書（全体版）を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：22,652円

期末：25,422円 (分配金0円)

騰落率：12.2% (分配金込み)

#### 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資した結果、主に国内株式市況と国内リート市況の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

#### 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
外国債券インデックスマザーファンド	10.5%	24.8%
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (BPI)	△6.0%	24.0%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	14.6%	15.0%
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	30.1%	14.8%
ダイワ好配当日本株マザーファンド	45.2%	10.3%
ダイワ北米好配当株マザーファンド	14.3%	8.0%
ダイワ欧州好配当株マザーファンド	31.2%	1.7%
ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	52.6%	0.3%

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2025.1.11~2026.1.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	233円	0.998%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は23,314円です。
（投 信 会 社）	(116)	(0.499)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(103)	(0.444)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(13)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	10	0.042	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(4)	(0.019)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
（ハイブリッド優先証券）	(0)	(0.001)	
（投 資 証 券）	(5)	(0.022)	
有 価 証 券 取 引 税	1	0.005	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.000)	
（ハイブリッド優先証券）	(0)	(0.000)	
（投 資 証 券）	(1)	(0.005)	
そ の 他 費 用	4	0.017	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(3)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(2)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(△0)	(△0.002)	税金の戻し入れ、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	248	1.062	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

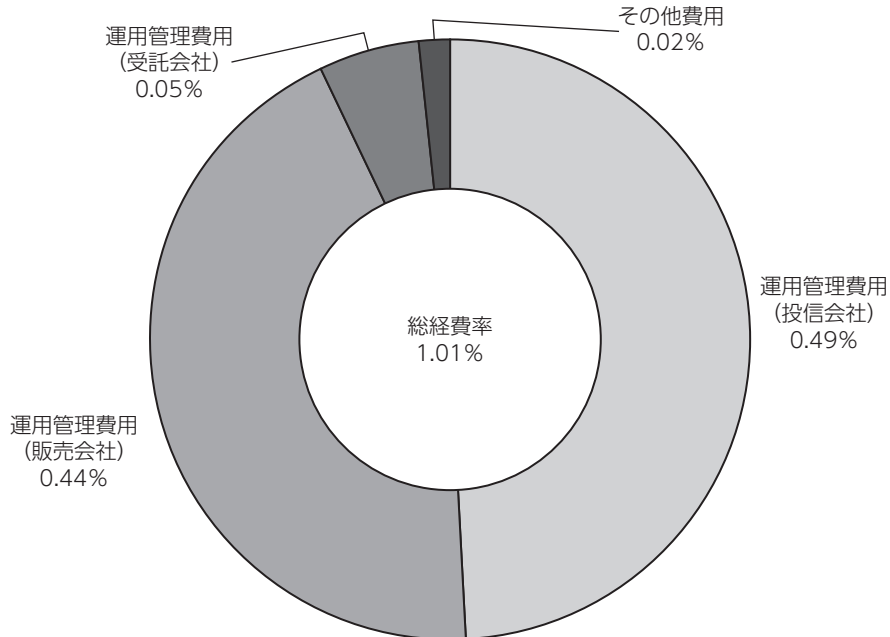
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.01%です。

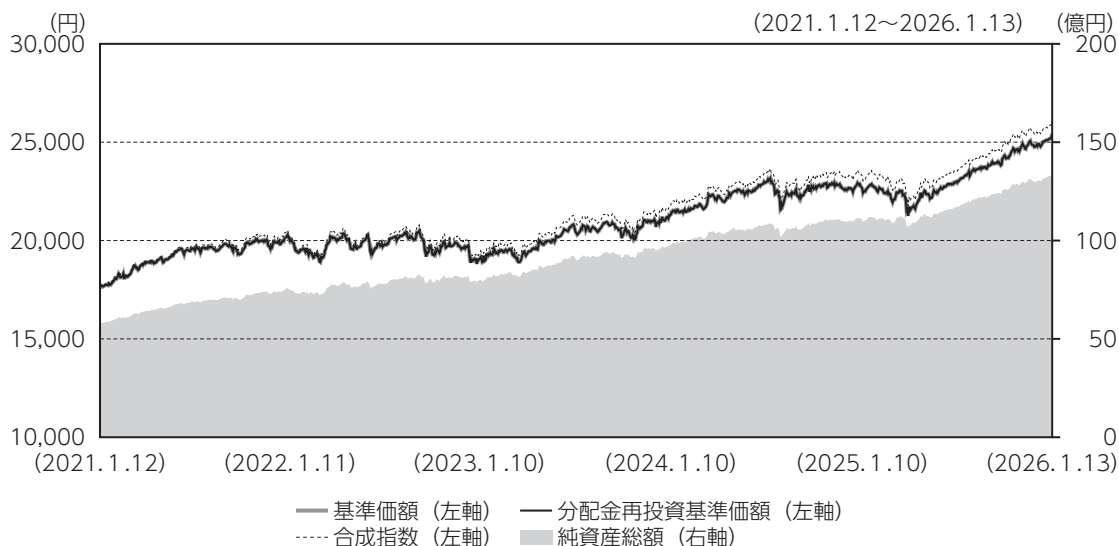


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2021年1月12日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数は合成指数です。

		2021年1月12日 期初	2022年1月11日 決算日	2023年1月10日 決算日	2024年1月10日 決算日	2025年1月10日 決算日	2026年1月13日 決算日
基準価額	(円)	17,702	19,976	19,057	21,309	22,652	25,422
分配金 (税込み)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	12.8	△4.6	11.8	6.3	12.2
合成指数騰落率	(%)	—	13.8	△4.0	12.8	6.9	12.1
純資産総額	(百万円)	5,838	7,477	7,978	9,782	11,059	13,293

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 合成指数は、下記の指数と配分比率をもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

投資対象資産	指数	配分比率
海外債券	F T S E世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	25%
国内債券	NOMURA-BPI総合指数	25%
海外リート	S & P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算)	15%
国内リート	東証REIT指数 (配当込み)	15%
海外株式	M S C Iコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)	10%
国内株式	T O P I X (配当込み)	10%

(注) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2025.1.11~2026.1.13)

### ■ 海外債券市況

先進国債券市場では、金利は国によってまちまちな動きとなりました。

先進国債券市場では、当作成期首から2025年4月末にかけて、インフレなどに対する過度な警戒感が後退したことや、米国の関税政策による世界的な景気減速が懸念されたことなどから、金利はおおむね低下（債券価格は上昇）しました。5月に入ると、関税政策をめぐる各国との交渉に進展が見られ、過度な景気減速懸念が後退したことなどから金利はおおむね上昇（債券価格は下落）しましたが、その後は各国の個別要因から、金利は国によってまちまちな動きとなり、当作成期末を迎えました。

### ■ 国内債券市況

国内債券市場では、長期金利は上昇しました。

当作成期首より、日銀が利上げ継続の姿勢を示したことに加え、財政規律を重んじるドイツが防衛費増額等のため財政拡張に舵を切りドイツ金利が急騰した影響などから、国内長期金利は上昇しました。ところが2025年4月に入ると、米国の関税政策による景気減速懸念から株価急落とともにリスク回避の動きが強まり、金利は急低下しました。しかし5月には、米中貿易交渉の進展を受けてリスク回避姿勢が和らいだことで、金利は急上昇しました。その後も、財政悪化懸念や新政権発足に伴う政策期待などから金利は上昇基調となり、当作成期末を迎えました。

### ■ 海外リート市況

海外リート市況は上昇しました。

海外リート市況は、当作成期首より、米国長期金利が低下したことなどを追い風に、上昇基調となりました。しかし2025年4月初めに、トランプ米国政権から発表された相互関税が事前に広く予想されていた税率を上回ったことなどが嫌気され、米国を中心に大きく下落しました。その後は、米国の関税政策をめぐる各国の貿易交渉の進展を背景に、反発しました。8月半ばにかけて横ばい圏で推移した後は、9月末にかけて米国長期金利の低下傾向などを追い風に、上昇基調で推移しました。当作成期末にかけては、米中関係や米国長期金利の動向などに左右され、上値の重い展開となりました。

### ■ 国内リート市況

国内リート市況は上昇しました。

国内リート市況は、当作成期首より2025年3月下旬にかけて、国内長期金利が上昇する局面で下落する場面も見られましたが、海外の投資ファンドによる2度のTOB（公開買付け）の実施の発表、良好な賃貸市場、複数の自己投資口取得の発表などが支えとなり、上昇しました。しかし、3月末にトランプ米国政権の関税政策への不安から下落に転じ、4月初旬に発表された相互関税が想定を大きく超える税率となると、続落しました。その後当作成末にかけては、米国の関税政策による業績への影響が限定的であると期待されたことや、好調な賃貸市場を背景とした保有物件の稼働率の改善および賃料増額、

また物件売却による含み益の顕在化を通じ、一口当たり利益や配当の具体的な成長目標を掲げる銘柄が増えてきたこと、資本効率改善を目的とした自己投資口取得や国内リートへ投資を行う投資信託への資金流入などによる需給改善、長期金利が上昇する中でも国内リート市場全体として増配が続くことへの期待などが背景となり、上昇基調が続きました。

## ■海外株式市況

### ・北米

北米株式市況は、一時的な調整を挟みながら大幅に上昇しました。

北米株式市況は、当作成期首より、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、上昇しました。2025年2月下旬から4月上旬にかけては、経済指標の悪化やトランプ米国政権下で発表された関税引き上げが懸念されて下落しましたが、その後、米国と主要貿易相手国の間での通商交渉の進展を背景に投資家心理が改善する中、A I（人工知能）関連企業の成長期待の高まりや、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ再開などが好感され、上昇基調で推移しました。

米国ハイブリッド優先証券市況は上昇しました。

米国ハイブリッド優先証券市況は、景気減速懸念や不確実性の高まりからクレジットスプレッドが一時拡大し下落しましたが、当作成期を通じて長期金利が低下傾向で推移したことから上昇しました。

### ・欧州

欧州株式市況は上昇しました。

欧州株式市況は、当作成期首から2025年2月下旬にかけて、E C B（欧州中央銀行）による利下げ期待や、トランプ米国政権による追加関税について想定以上の悪材料が出なかったこと、ウクライナとロシアの和平に向けた動きなどを背景に上昇しました。4月に入り、米国政府が想定以上に高率な相互関税を発表すると欧州株式市況は急落しましたが、相互関税の上乗せ税率適用の90日間停止が発表されると一転して反発しました。5月中旬から12月下旬にかけては緩やかに上昇する展開となりましたが、当作成期末にかけては、米国によるベネズエラ大統領拘束などを受けて防衛関連銘柄や、主力の肥満治療薬の錠剤版を米国で発売開始したノボノルディスクなどがけん引役となり、上昇しました。

### ・アジア・オセアニア

アジア・オセアニア株式市況は上昇しました。

アジア・オセアニア株式市況は、当作成期首より、中国当局による消費財買い替え政策の強化が注目されたこと、また台湾で半導体企業の決算や輸出受注が好感されたことなどから上昇しました。2025年3月以降は、中国の全人代（全国人民代表大会）において内需拡大が最優先項目に格上げされたことで需要喚起への期待が高まったものの、トランプ米国大統領の発言から関税引き上げや政府支出の大幅削減に伴う景気後退に対する懸念が高まり下落しました。4月初旬には、トランプ米国政

権が、すべての国に一律10%の関税をかけた上で国・地域ごとに異なる税率を上乗せする「相互関税」を発表し、それに対して中国政府も米国に報復関税を課したことで、米中貿易摩擦に対する懸念が高まり、株式市場は大きく下落しました。5月以降は、米中が貿易交渉で大枠合意し貿易摩擦懸念が後退したことや、韓国大統領選挙で李在明氏が当選し市場改革への期待が高まったことなどから上昇しました。6月半ば以降は、中東情勢の悪化から原油価格が急騰し世界経済の不透明感が高まりましたが、イスラエルとイランの停戦合意やF R B（米国連邦準備制度理事会）の早期利下げ期待などから株式市場は上昇しました。その後は、トランプ米国大統領が各国に対して相互関税を課す大統領令に署名し貿易摩擦懸念が再燃したことから上値の重い展開となりましたが、中国政府による景気支援策やテクノロジー振興への姿勢を期待する動きが高まったことなどを背景に、10月末にかけて上昇しました。11月以降は、A I（人工知能）関連株の割高感や米国の利下げ時期をめぐる不透明感、中国景気刺激期待の後退などが嫌気され、全体的に軟調な展開となりました。2026年1月に入ると、韓国や台湾でA I・半導体関連株が相場をけん引し、上昇して当作成期末を迎えました。

## ■国内株式市況

国内株式市況は史上最高値を更新しました。

国内株式市況は、当作成期首より、日銀の利上げの影響や円高進行、米国の関税引き上げへの懸念などから上値の重い展開となり、2025年4月2日に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことや、円高が急速に進行したことなどから、株価はまれに見る急落に見舞われました。ところが、同月9日に相互関税の大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、一転して株価は急反発しました。5月以降も、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退したことや、7月下旬には日米が通商交渉で合意したことなどから急騰し、その後も4－6月期の企業業績が事前予想ほど悪化しなかったことが好感され、続伸しました。9月以降は、A I（人工知能）・半導体関連株が上昇を主導したほか、10月には高市氏の首相就任や自維連立政権成立への期待感などもあり、上昇傾向が継続しました。その後も、円安進行や良好な需給環境などが相場を下支えし、史上最高値近辺で当作成期末を迎えました。

## ■為替相場

為替相場では、投資対象通貨は対円で上昇（円安）しました。

対円為替相場は、当作成期首から2025年4月半ばにかけて、日銀の利上げ観測が高まったことや、米国の関税政策により市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから円高が進み、投資対象通貨はおおむね下落（円高）しました。しかしその後は、米国と各国間の貿易交渉の進展を背景に市場のリスク選好が強まったことに加え、自民党総裁選挙において財政拡張や金融緩和を志向する高市氏が総裁に選出されたことなどを背景に円安が進行したことで、投資対象通貨は対円でおおむね上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ・外国債券インデックスマザーファンド           | …純資産総額の25%                                   |
| ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I） | …純資産総額の25%                                   |
| ・ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド    | …純資産総額の15%                                   |
| ・ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド   | …純資産総額の15%                                   |
| ・ダイワ北米好配当株マザーファンド            | } …3ファンド合計で純資産総額の10%<br>(各地域の時価総額に応じて配分します。) |
| ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド            |  |
| ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド    |  |
| ・ダイワ好配当日本株マザーファンド            | …純資産総額の10%                                   |

### ■外国債券インデックスマザーファンド

今後も、ファンドの通貨の比率をベンチマークに極力近づけ、かつ、ファンドとベンチマークの金利変動に対する価格感応度を近づけることにより、ベンチマークに連動する投資成果をめざします。

### ■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I）

ベンチマークとの高い連動性を維持するように運用を行ってまいります。残存年限別構成や債券種別構成、金利や信用スプレッド（国債以外の債券における国債との利回り格差）への感応度を厳密に管理するとともに、ファンドの資金流入や毎月末に行われるベンチマークのユニバース変更に対しては、売買コストなどに十分配慮しつつ、きめ細かなポートフォリオのリバランスを行います。なお、当ファンドは現在、ベンチマークに含まれるすべての債券種別を組入対象としておりますが、流動性の問題などを勘案し、相対的に格付けの低い銘柄等への投資は見送ることもあります。

### ■ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド

安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C & Sに運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

### ■ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ国内リートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオ構築にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

### ■ダイワ北米好配当株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、C & Sに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。普通株式については、今後も企業のファンダメンタルズ、キャッシュフローおよび配当の成長、配当利回り、バリュエーションなどを考慮しながら、ポートフォリオを構築します。ハイブリッド優先証券については、利回り水準やバリュエーションが相対的に魅力的な銘柄を中心にポートフォリオを構築します。

### ■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。銘柄選定では、収益基盤が強固で安定した配当を継続できる銘柄や、収益改善が見込まれる銘柄に選別投資する方針です。

### ■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

当ファンドでは、主として台湾やオーストラリア、韓国、中国（香港）を中心にアジア・オセアニア地域に上場する株式へ投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の中長期的な成長をめざします。ポートフォリオの構築にあたっては、各国の投資比率の分散に配慮しつつ、企業のファンダメンタルズ、成長性を勘案し、予想配当利回りおよび各種バリュエーション指標や株価水準等を考慮して銘柄選択を行います。

### ■ダイワ好配当日本株マザーファンド

株式等の組入比率は、高位を維持する方針です。個別銘柄の選別にあたりましては、予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に、中長期的な業績回復・成長の動向やP E R（株価収益率）・P B R（株価純資産倍率）などのバリュエーション指標、配当・自社株買いなどの株主還元策や資本効率の向上に対する経営姿勢などに注目してまいります。

※C & S：コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク

※アムンディ・アイルランド：アムンディ・アイルランド・リミテッド

## ポートフォリオについて

(2025.1.11~2026.1.13)

### ■当ファンド

当ファンドは、各マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行いました。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、以下の標準組入比率をめどに投資を行いました。

・外国債券インデックスマザーファンド	…純資産総額の25%
・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I)	…純資産総額の25%
・ダイワ・グローバル R E I T ・マザーファンド	…純資産総額の15%
・ダイワ J - R E I T アクティブ ・マザーファンド	…純資産総額の15%
・ダイワ北米好配当株マザーファンド	} …3ファンド合計で純資産総額の10% (各地域の時価総額に応じて配分しました。)
・ダイワ欧州好配当株マザーファンド	
・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	
・ダイワ好配当日本株マザーファンド	…純資産総額の10%

### ■外国債券インデックスマザーファンド

外国の公社債に投資し、ファンドの通貨の比率をベンチマークに極力近づけ、かつ、ファンドとベンチマークの金利変動に対する価格感応度を近づけることにより、ベンチマークに連動する投資成果をめざしました。

### ■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I)

当ファンドの基準価額の騰落率が、ベンチマークの騰落率に連動することをめざしたポートフォリオ構築を行いました。当作成期を通じて、公社債組入比率を99%前後の高位に保つと同時に、ポートフォリオの満期構成やデュレーション、金利や信用スプレッド（国債以外の債券における国債との利回り格差）の変動に対する感応度などをベンチマークに適切に近づけることにより、高い連動性を維持しました。また、ファンドへの資金流入や毎月末に行われるベンチマークのユニバース変更に対応して、ポートフォリオのリバランスを適宜行いました。

### ■ダイワ・グローバル R E I T ・マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、C & S に運用の指図にかかる権限を委託しております。信託財産の中長期的な成長をめざし、保有不動産の価値や期待される成長性などと比べてリート価格が魅力的であると考えられる銘柄に着目するとともに、安定的な配当利回りの確保をめざしてポートフォリオを構築しました。国・地域別配分では、大きなリスクを取らず各地域に分散して投資を行いました。

### ■ダイワ J - R E I T アクティブ ・マザーファンド

リートの組入比率につきましては、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本としており、おおむね95~98%台程度で推移させました。また、東証 R E I T 指数先物へ

の投資も行い、先物と合計で95～100%程度で推移させました。リート銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資しました。個別銘柄では、当作成期を通じて見ると、G L P、野村不動産マスターファンド、日本プロロジスリートなどを東証R E I T指数と比較してオーバーウエートとし、ユナイテッド・アーバン、積水ハウス・リート、イオンリートなどをアンダーウエートとしました。

### ■ダイワ北米好配当株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、C & Sに運用の指図にかかる権限を委託しております。普通株式については、企業のファンダメンタルズやキャッシュフローの成長性、配当利回りやバリュエーション等を考慮し、キャッシュフローを生み出し、魅力的な配当利回りを将来にわたって提供できると考える銘柄を中心としたポートフォリオとしました。ハイブリッド優先証券については、利回り水準やバリュエーションが相対的に魅力的な銘柄を中心としたポートフォリオとしました。

### ■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、アムンディ・アイルランドに運用の指図にかかる権限を委託しております。株式組入比率は高位に維持しました。銘柄選定にあたって、アムンディ・アイルランドは、収益基盤が強固で安定した配当を継続できる銘柄や、収益改善が見込まれる銘柄に選別投資しました。

### ■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

台湾やオーストラリア、韓国、中国（香港）を中心に、高い利益成長が見込まれた銘柄や予想配当利回りが高いと判断された銘柄などを組み入れました。国別では、各国の投資比率の分散に配慮しつつ、台湾、韓国、オーストラリアを高位に組み入れました。セクター別では、情報技術や金融を高位に組み入れました。

### ■ダイワ好配当日本株マザーファンド

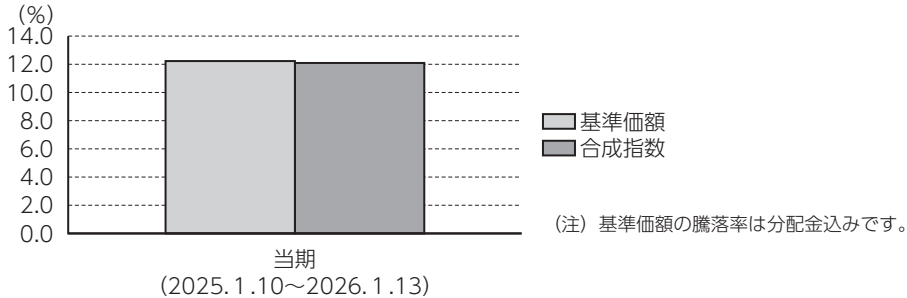
配当利回りや企業業績のほか、P E R（株価収益率）やP B R（株価純資産倍率）などのバリュエーション指標、株主還元や資本効率の向上に対する経営姿勢などにも注目し、投資しました。株式等の組入比率は、おおむね高位で推移させました。業種構成は、建設業、銀行業、卸売業などの比率を引き上げた一方で、機械、化学、電気機器などの比率を引き下げました。個別銘柄では、業績見通しや配当利回りの水準などを総合的に勘案し、丸紅、三井物産、鹿島建設などを買付けました。一方で、三菱商事、コスモエネルギーH L D G S、S A N K Y Oなどを売却しました。

\* マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

組入ファンド	ベンチマーク
外国債券インデックスマザーファンド	F T S E世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I）	N O M U R A - B P I 総合指数

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（合成指数）との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、確定拠出型年金向けファンドであることを考慮し、収益分配を見送らせていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年1月11日 ～2026年1月13日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（%）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配可能額	（円）	15,569

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配可能額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

※なお、投資信託約款上の分配対象額は、上記分配可能額のうち経費控除後の配当等収益等です。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| ・外国債券インデックスマザーファンド              | …純資産総額の25%                                     |
| ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I)   | …純資産総額の25%                                     |
| ・ダイワ・グローバル R E I T ・マザーファンド     | …純資産総額の15%                                     |
| ・ダイワ J - R E I T アクティブ ・マザーファンド | …純資産総額の15%                                     |
| ・ダイワ北米好配当株マザーファンド               | } … 3 ファンド合計で純資産総額の10%<br>(各地域の時価総額に応じて配分します。) |
| ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド               |  |
| ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド       |  |
| ・ダイワ好配当日本株マザーファンド               | …純資産総額の10%                                     |

### ■外国債券インデックスマザーファンド

今後も、ファンドの通貨の比率をベンチマークに極力近づけ、かつ、ファンドとベンチマークの金利変動に対する価格感応度を近づけることにより、ベンチマークに連動する投資成果をめざします。

### ■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I)

ベンチマークとの高い連動性を維持するように運用を行ってまいります。残存年限別構成や債券種別構成、金利や信用スプレッド (国債以外の債券における国債との利回り格差) への感応度を厳密に管理するとともに、ファンドの資金流入や毎月末に行われるベンチマークのユニバース変更に対しては、売買コストなどに十分配慮しつつ、きめ細かなポートフォリオのリバランスを行います。なお、当ファンドは現在、ベンチマークに含まれるすべての債券種別を組入対象としておりますが、流動性の問題などを勘案し、相対的に格付けの低い銘柄等への投資は見送ることもあります。

### ■ダイワ・グローバル R E I T ・マザーファンド

安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C & S に運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

### ■ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ国内リートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオ構築にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

### ■ダイワ北米好配当株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、C & Sに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。普通株式については、今後も企業のファンダメンタルズ、キャッシュフローおよび配当の成長、配当利回り、バリュエーションなどを考慮しながら、ポートフォリオを構築します。ハイブリッド優先証券については、利回り水準やバリュエーションが相対的に魅力的な銘柄を中心にポートフォリオを構築します。

### ■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。銘柄選定では、収益基盤が強固で安定した配当を継続できる銘柄や、収益改善が見込まれる銘柄に選別投資する方針です。

### ■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

当ファンドでは、主として台湾やオーストラリア、韓国、中国（香港）を中心にアジア・オセアニア地域に上場する株式へ投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の中長期的な成長をめざします。ポートフォリオの構築にあたっては、各国の投資比率の分散に配慮しつつ、企業のファンダメンタルズ、成長性を勘案し、予想配当利回りおよび各種バリュエーション指標や株価水準等を考慮して銘柄選択を行います。

### ■ダイワ好配当日本株マザーファンド

株式等の組入比率は、高位を維持する方針です。個別銘柄の選別にあたりましては、予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に、中長期的な業績回復・成長の動向やP E R（株価収益率）・P B R（株価純資産倍率）などのバリュエーション指標、配当・自社株買いなどの株主還元策や資本効率の向上に対する経営姿勢などに注目してまいります。



## お知らせ

### ■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

(運用報告書に記載すべき事項の提供)

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

(運用状況にかかる情報の提供)

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

---

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（設定日：2006年1月12日）	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記の各マザーファンドの受益証券
	外国債券インデックスマザーファンド	外国の公社債
	ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	内外の公社債等（各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。）
	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
	ダイワ北米好配当株マザーファンド	北米の金融商品取引所上場または店頭登録の株式およびハイブリッド優先証券（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ欧州好配当株マザーファンド	欧州の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	アジア・オセアニアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ好配当日本株マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）
ベビーファンドの運用方法	主として、マザーファンドを通じて内外の公社債、不動産投資信託証券および株式に投資を行ない、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

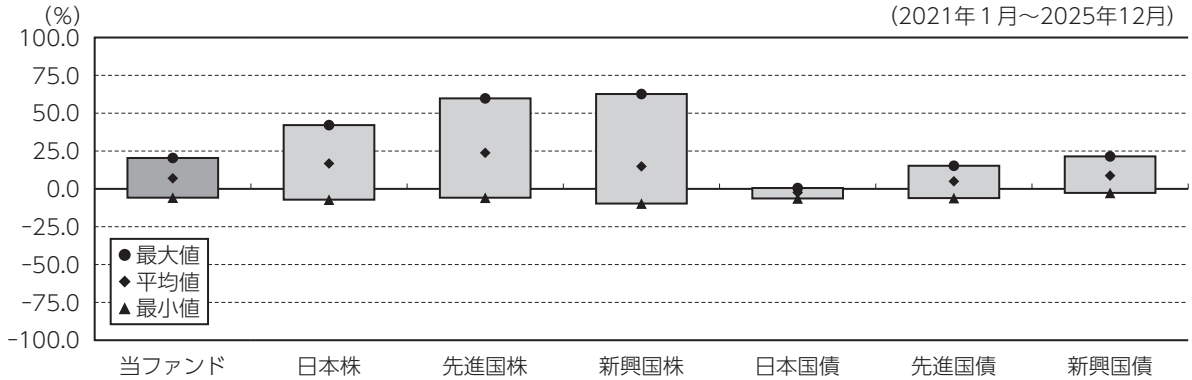
※配当込みTOPIX（本書類における「TOPIX（配当込み）」をいう。）の指数値及び同指数に係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有する。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負わない。当ファンドは、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負わない。

※NOMURA-BPI総合指数の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及び同指数に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

※FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	20.4	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
平均値	7.0	16.8	23.8	14.9	△2.4	5.0	8.8
最小値	△5.8	△7.1	△5.8	△9.7	△6.3	△6.1	△2.7

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



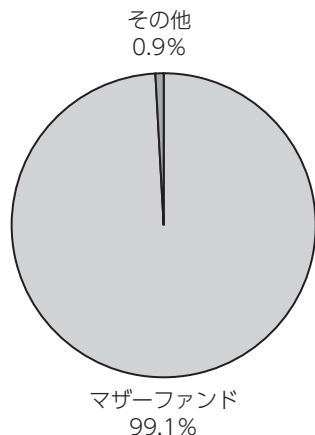
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

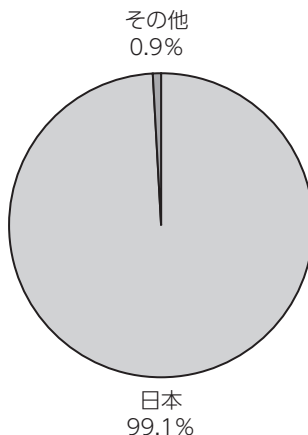
### 組入ファンド等

	比率
外国債券インデックスマザーファンド	24.8%
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I)	24.0
ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド	15.0
ダイワJ-R E I Tアクティブ・マザーファンド	14.8
ダイワ好配当日本株マザーファンド	10.3
ダイワ北米好配当株マザーファンド	8.0
ダイワ欧州好配当株マザーファンド	1.7
ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	0.3
その他	0.9

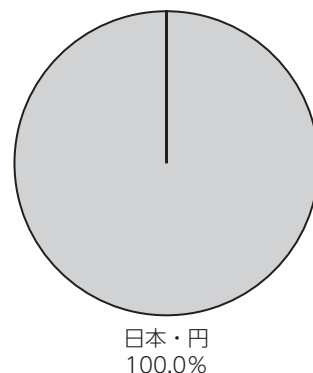
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2026年1月13日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項目	当期末
	2026年1月13日
純資産総額	13,293,631,388円
受益権総口数	5,229,242,455口
1万口当り基準価額	25,422円

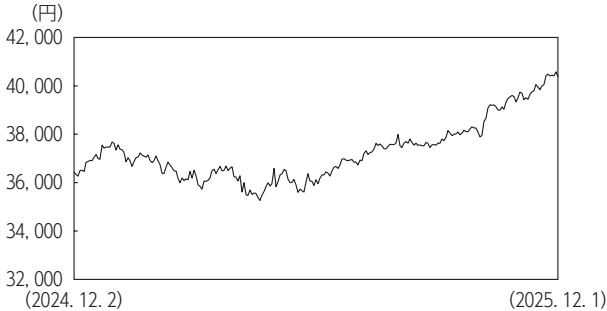
\*当期中における追加設定元本額は853,297,431円、同解約元本額は506,395,380円です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

## ◆外国債券インデックスマザーファンド (作成対象期間 2024年12月3日～2025年12月1日)

## ■基準価額の推移



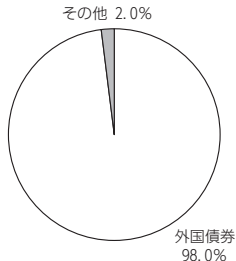
## ■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	5 (5)
(その他)	(0)
合計	5

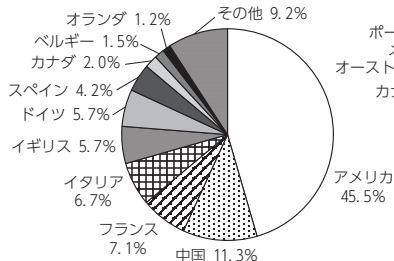
## ■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
CHINA GOVERNMENT BOND 1.85% 2027/5/15	オフショア・人民元	0.5%
United States Treasury Note/Bond 2.875% 2028/5/15	アメリカ・ドル	0.5
CHINA GOVERNMENT BOND 2.05% 2029/4/15	オフショア・人民元	0.4
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.875% 2034/8/15	アメリカ・ドル	0.4
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 4.5% 2033/11/15	アメリカ・ドル	0.4
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 4.125% 2032/11/15	アメリカ・ドル	0.4
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 4.0% 2034/2/15	アメリカ・ドル	0.4
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 4.25% 2034/11/15	アメリカ・ドル	0.4
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 4.25% 2035/5/15	アメリカ・ドル	0.4
United States Treasury Note/Bond 1.125% 2031/2/15	アメリカ・ドル	0.4
組入銘柄数		1,059銘柄

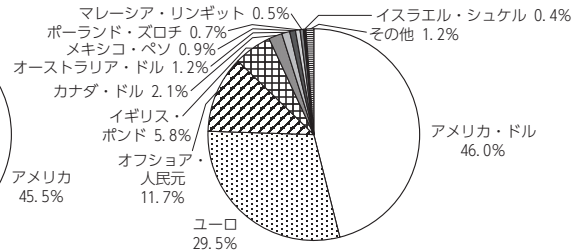
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

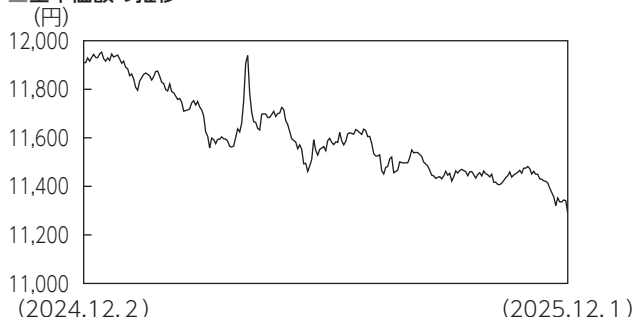
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## ◆ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (BPI) (作成対象期間 2024年12月3日~2025年12月1日)

## ■基準価額の推移



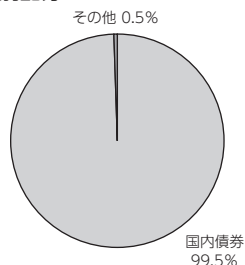
## ■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料		-円
有価証券取引税		-
その他費用		-
合	計	-

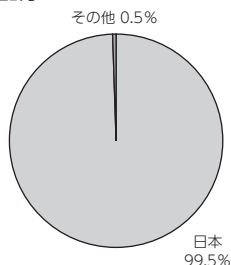
## ■組入上位銘柄

銘柄名	比率
158 5年国債 0.1% 2028/3/20	1.7%
154 5年国債 0.1% 2027/9/20	1.6
156 5年国債 0.2% 2027/12/20	1.6
163 5年国債 0.4% 2028/9/20	1.6
360 10年国債 0.1% 2030/9/20	1.3
153 5年国債 0.005% 2027/6/20	1.3
362 10年国債 0.1% 2031/3/20	1.2
161 5年国債 0.3% 2028/6/20	1.1
369 10年国債 0.5% 2032/12/20	1.1
370 10年国債 0.5% 2033/3/20	1.1
組入銘柄数	392銘柄

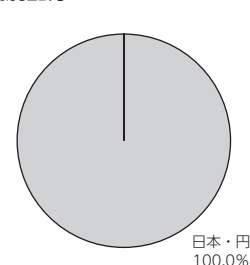
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

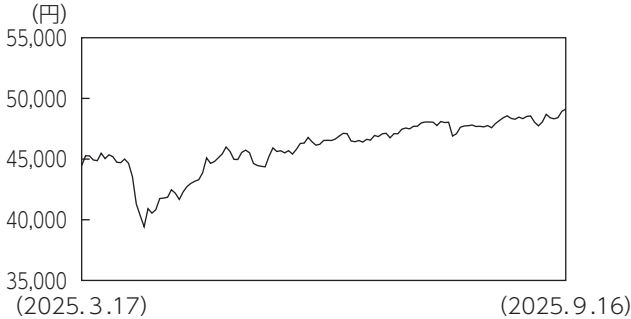
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## ◆ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド（作成対象期間 2025年3月18日～2025年9月16日）

## ■基準価額の推移



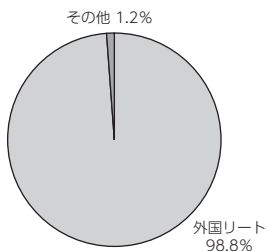
## ■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料 (投資証券)	15円 (15)
有価証券取引税 (投資証券)	8 (8)
その他費用 (保管費用)	△3 (5)
(その他)	(△7)
合計	21

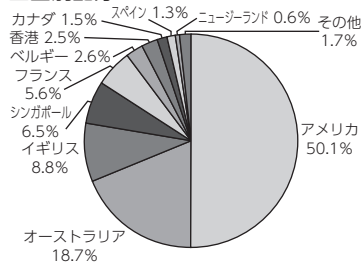
## ■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	7.8%
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	5.9
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	4.4
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	3.5
STOCKLAND	オーストラリア・ドル	2.9
INVITATION HOMES INC	アメリカ・ドル	2.8
CAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL	シンガポール・ドル	2.7
SCENTRE GROUP	オーストラリア・ドル	2.6
LINK REIT	香港・ドル	2.5
KLEPIERRE	ユーロ	2.4
組入銘柄数		73銘柄

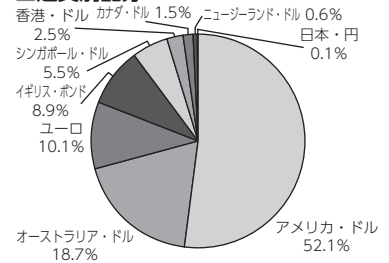
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

# DCダイワ・ワールドアセット (六つの羽／6分散コース)

&lt;3720&gt;

追加型投信／内外／資産複合  
日経新聞掲載名：DC六羽6分

第20期 2026年1月13日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、内外の債券、リート（不動産投資信託）および株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第20期末	基準価額	30,744円
	純資産総額	16,783百万円
第20期	騰落率	16.6%
	分配金	0円

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00~17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD  
FONT

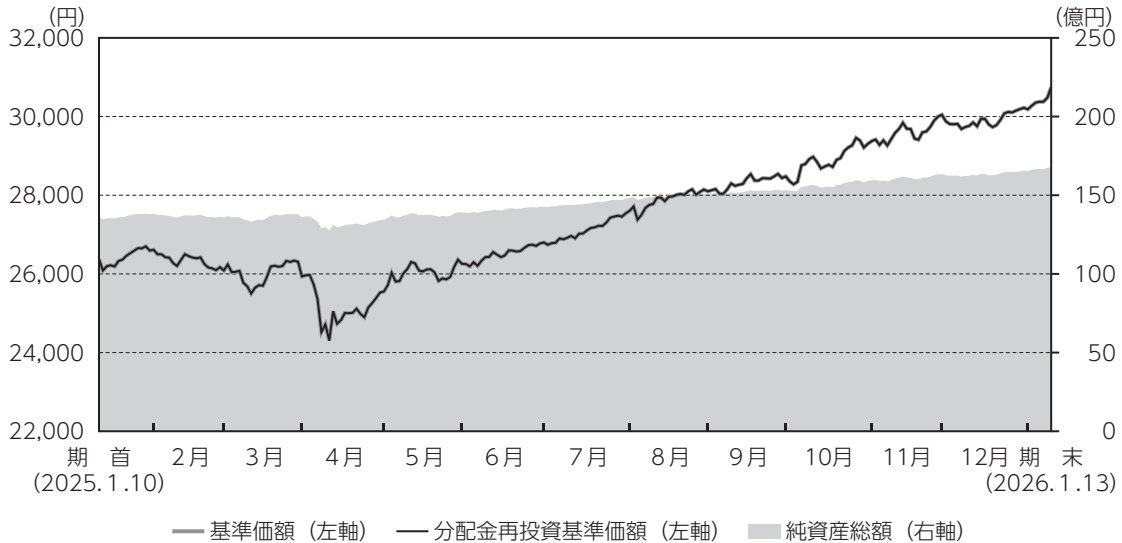
見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法  
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書（全体版）を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：26,376円

期末：30,744円（分配金0円）

騰落率：16.6%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資した結果、主に国内株式市況と国内リート市況の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

#### 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ好配当日本株マザーファンド	45.2%	17.6%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	14.6%	16.5%
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	30.1%	16.4%
外国債券インデックスマザーファンド	10.5%	16.4%
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (BPI)	△6.0%	15.6%
ダイワ北米好配当株マザーファンド	14.3%	13.3%
ダイワ欧州好配当株マザーファンド	31.2%	2.9%
ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	52.6%	0.5%

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2025.1.11~2026.1.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	320円	1.164%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は27,467円です。
(投 信 会 社)	(161)	(0.588)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(143)	(0.521)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(15)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	16	0.057	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(9)	(0.031)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(ハイブリッド優先証券)	(0)	(0.001)	
(投 資 証 券)	(7)	(0.025)	
有 価 証 券 取 引 税	2	0.006	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(ハイブリッド優先証券)	(0)	(0.000)	
(投 資 証 券)	(1)	(0.005)	
そ の 他 費 用	5	0.019	その他費用＝当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(△1)	(△0.002)	税金の戻し入れ、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	342	1.246	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

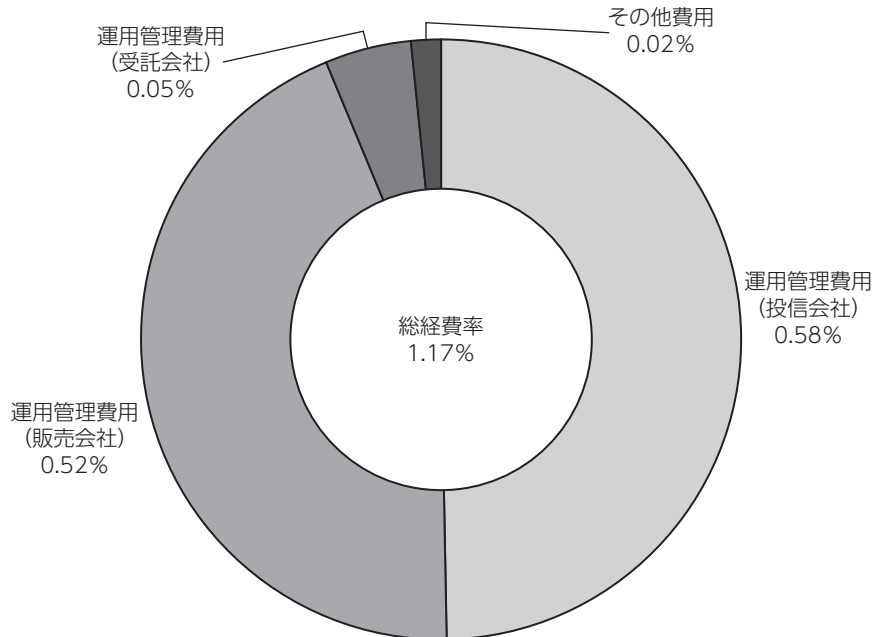
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。

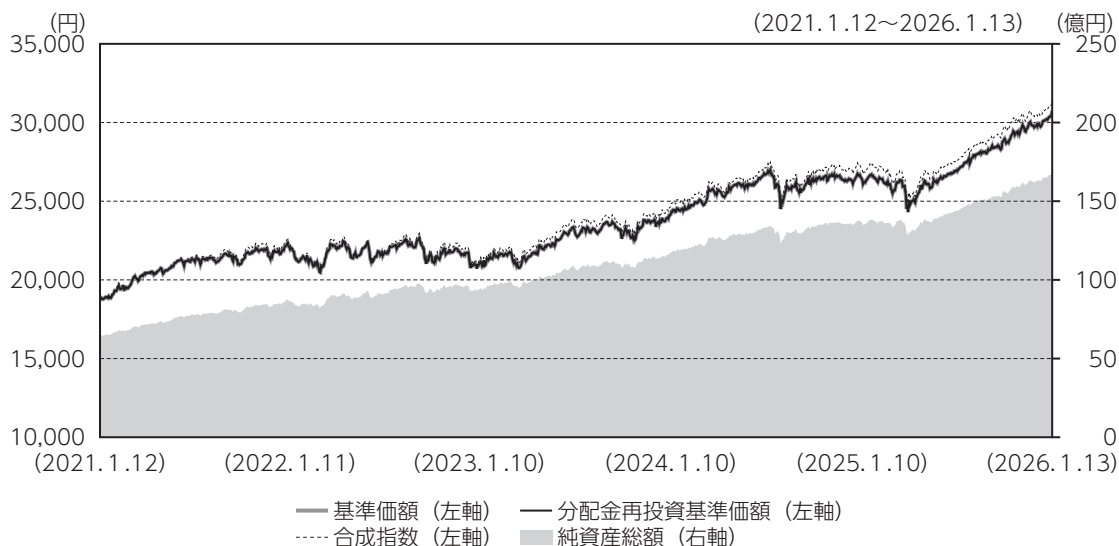


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2021年1月12日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数は合成指数です。

		2021年1月12日 期初	2022年1月11日 決算日	2023年1月10日 決算日	2024年1月10日 決算日	2025年1月10日 決算日	2026年1月13日 決算日
基準価額	(円)	18,830	21,960	20,999	24,153	26,376	30,744
分配金 (税込み)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	16.6	△4.4	15.0	9.2	16.6
合成指数騰落率	(%)	—	17.4	△4.0	16.2	9.6	16.3
純資産総額	(百万円)	6,484	8,604	9,398	11,710	13,625	16,783

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 合成指数は、下記の指数と配分比率をもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

投資対象資産	指数	配分比率
海外債券	F T S E世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	16.7%
国内債券	NOMURA-BPI総合指数	16.7%
海外リート	S & P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算)	16.7%
国内リート	東証REIT指数 (配当込み)	16.7%
海外株式	M S C Iコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)	16.7%
国内株式	T O P I X (配当込み)	16.7%

(注) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2025.1.11~2026.1.13)

6～8ページをご参照ください。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| ・外国債券インデックスマザーファンド           | …純資産総額の16.7%                                    |
| ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I） | …純資産総額の16.7%                                    |
| ・ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド    | …純資産総額の16.7%                                    |
| ・ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド   | …純資産総額の16.7%                                    |
| ・ダイワ北米好配当株マザーファンド            | } … 3ファンド合計で純資産総額の16.7%<br>(各地域の時価総額に応じて配分します。) |
| ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド            |   |
| ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド    |   |
| ・ダイワ好配当日本株マザーファンド            | …純資産総額の16.7%                                    |

## ■外国債券インデックスマザーファンド

## ■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I）

## ■ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド

## ■ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド

## ■ダイワ北米好配当株マザーファンド

## ■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

## ■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

## ■ダイワ好配当日本株マザーファンド

9～10ページをご参照ください。

## ポートフォリオについて

(2025.1.11~2026.1.13)

### ■当ファンド

当ファンドは、各マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行いました。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、以下の標準組入比率をめどに投資を行いました。

・外国債券インデックスマザーファンド	…純資産総額の16.7%
・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I)	…純資産総額の16.7%
・ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド	…純資産総額の16.7%
・ダイワJ - R E I Tアクティブ・マザーファンド	…純資産総額の16.7%
・ダイワ北米好配当株マザーファンド	} … 3 ファンド合計で純資産総額の16.7% (各地域の時価総額に応じて配分しました。)
・ダイワ欧州好配当株マザーファンド	
・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	
・ダイワ好配当日本株マザーファンド	…純資産総額の16.7%

### ■外国債券インデックスマザーファンド

### ■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I)

### ■ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド

### ■ダイワJ - R E I Tアクティブ・マザーファンド

### ■ダイワ北米好配当株マザーファンド

### ■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

### ■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

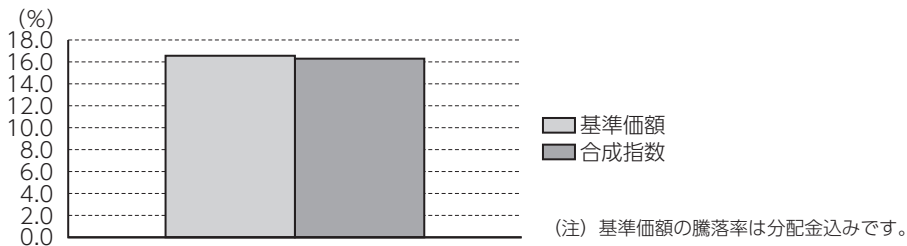
### ■ダイワ好配当日本株マザーファンド

} 11~12ページをご参照ください。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（合成指数）との騰落率の対比です。



当期  
(2025.1.10~2026.1.13)

## 分配金について

当作成期は、確定拠出型年金向けファンドであることを考慮し、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年1月11日 ～2026年1月13日	
当期分配金（税込み）（円）	－	
対基準価額比率（％）	－	
当期の収益（円）	－	
当期の収益以外（円）	－	
翌期繰越分配可能額（円）	20,976	

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配可能額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

※なお、投資信託約款上の分配対象額は、上記分配可能額のうち経費控除後の配当等収益等です。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- ・外国債券インデックスマザーファンド …純資産総額の16.7%
- ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I） …純資産総額の16.7%
- ・ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド …純資産総額の16.7%
- ・ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド …純資産総額の16.7%

- ・ダイワ北米好配当株マザーファンド
- ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド
- ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド
- ・ダイワ好配当日本株マザーファンド

…3ファンド合計で純資産総額の16.7%  
(各地域の時価総額に応じて配分します。)  
…純資産総額の16.7%

- 外国債券インデックスマザーファンド
- ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (BPI)
- ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド
- ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド
- ダイワ北米好配当株マザーファンド
- ダイワ欧州好配当株マザーファンド
- ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド
- ダイワ好配当日本株マザーファンド

14~15ページをご参照ください。



## お知らせ

### ■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

(運用報告書に記載すべき事項の提供)

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

(運用状況にかかる情報の提供)

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

-----

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（設定日：2006年1月12日）	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記の各マザーファンドの受益証券
	外国債券インデックスマザーファンド	外国の公社債
	ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	内外の公社債等（各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。）
	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
	ダイワ北米好配当株マザーファンド	北米の金融商品取引所上場または店頭登録の株式およびハイブリッド優先証券（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ欧州好配当株マザーファンド	欧州の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	アジア・オセアニアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ好配当日本株マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）
ベビーファンドの運用方法	主として、マザーファンドを通じて内外の公社債、不動産投資信託証券および株式に投資を行ない、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

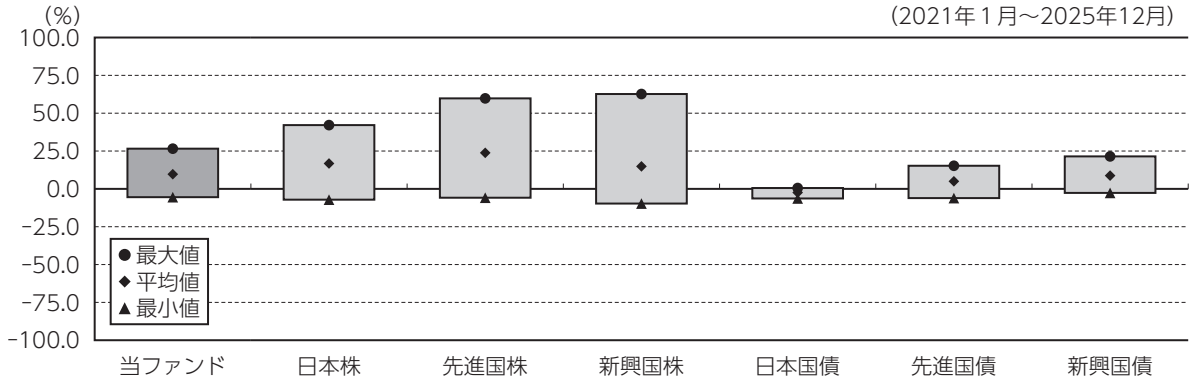
※配当込みTOPIX（本書類における「TOPIX（配当込み）」をいう。）の指数値及び同指数に係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有する。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負わない。当ファンドは、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負わない。

※NOMURA-BPI総合指数の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及び同指数に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

※FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	26.6	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
平均値	9.7	16.8	23.8	14.9	△2.4	5.0	8.8
最小値	△5.5	△7.1	△5.8	△9.7	△6.3	△6.1	△2.7

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



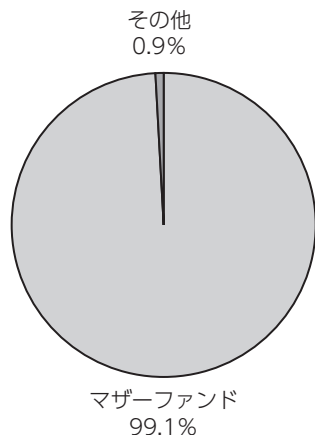
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

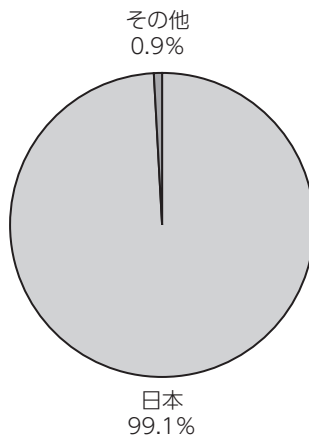
### 組入ファンド等

	比 率
ダイワ好配当日本株マザーファンド	17.6%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	16.5
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	16.4
外国債券インデックスマザーファンド	16.4
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (BPI)	15.6
ダイワ北米好配当株マザーファンド	13.3
ダイワ欧州好配当株マザーファンド	2.9
ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	0.5
その他	0.9

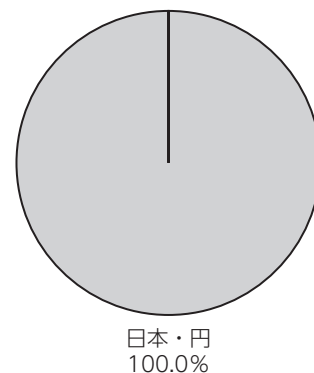
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2026年1月13日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	当 期 末
	2026年1月13日
純資産総額	16,783,673,843円
受益権総口数	5,459,134,609口
1万口当り基準価額	30,744円

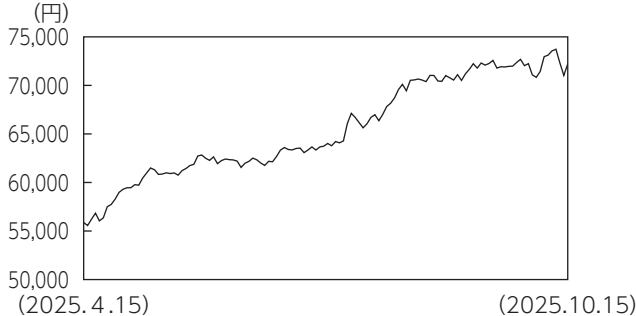
※当期中における追加設定元本額は786,610,685円、同解約元本額は493,163,080円です。

※組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

## ◆ダイワ好配当日本株マザーファンド（作成対象期間 2025年4月16日～2025年10月15日）

## ■基準価額の推移



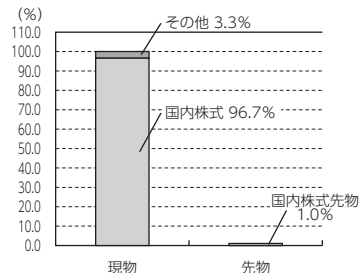
## ■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	47円 (47)
(先物・オプション)	(0)
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	47

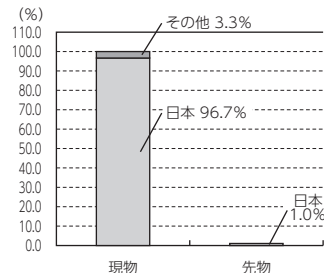
## ■組入上位銘柄

銘柄名	比率
住友電工	5.9%
東京海上HD	4.9
三菱UFJフィナンシャルG	4.8
小松製作所	4.6
三井住友フィナンシャルG	4.5
トヨタ自動車	3.3
アイシン	3.0
ソフトバンク	2.6
SANKYO	2.5
鹿島建設	2.5
組入銘柄数	92銘柄 (先物含む)

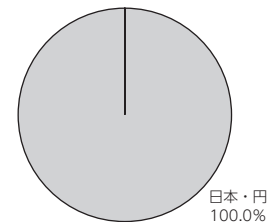
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のもです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

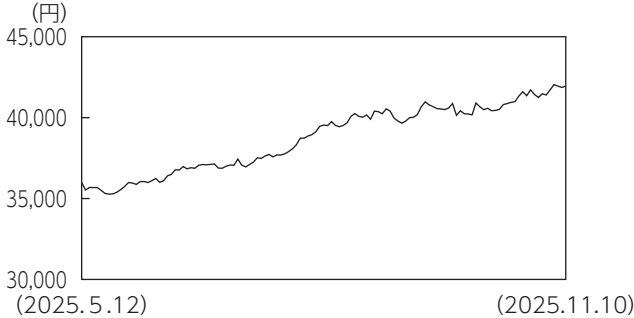
(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

- ◆ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド（作成対象期間 2025年3月18日～2025年9月16日）  
22ページをご参照ください。

## ◆ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド (作成対象期間 2025年5月13日～2025年11月10日)

## ■基準価額の推移



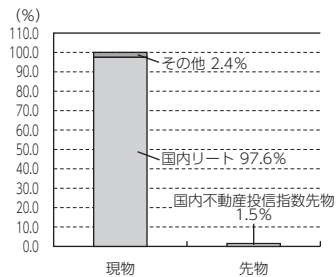
## ■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料 (先物・オプション) (投資証券)	11円 (0) (11)
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	11

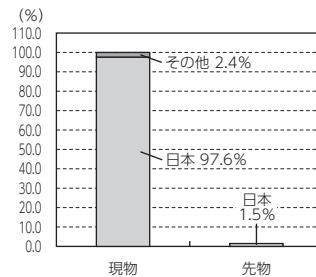
## ■組入上位銘柄

銘柄名	比率
日本ビルファンド	7.1%
野村不動産マスターF	6.4
日本都市ファンド投資法人	6.1
KDX不動産投資法人	6.0
GLP投資法人	5.9
日本プロロジスリート	5.7
ジャパンリアルエステイト	5.4
大和ハウスリート投資法人	4.6
インヴィンシブル投資法人	3.9
ジャパン・ホテル・リート投資法人	3.4
組入銘柄数	48銘柄 (先物含む)

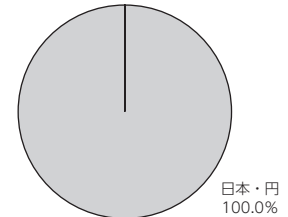
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

# DCダイワ・ワールドアセット (六つの羽／成長コース)

&lt;3721&gt;

追加型投信／内外／資産複合  
日経新聞掲載名：DC六羽成長

第20期 2026年1月13日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、内外の債券、リート（不動産投資信託）および株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第20期末	基準価額	39,190円
	純資産総額	27,594百万円
第20期	騰落率	22.6%
	分配金	0円

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00~17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



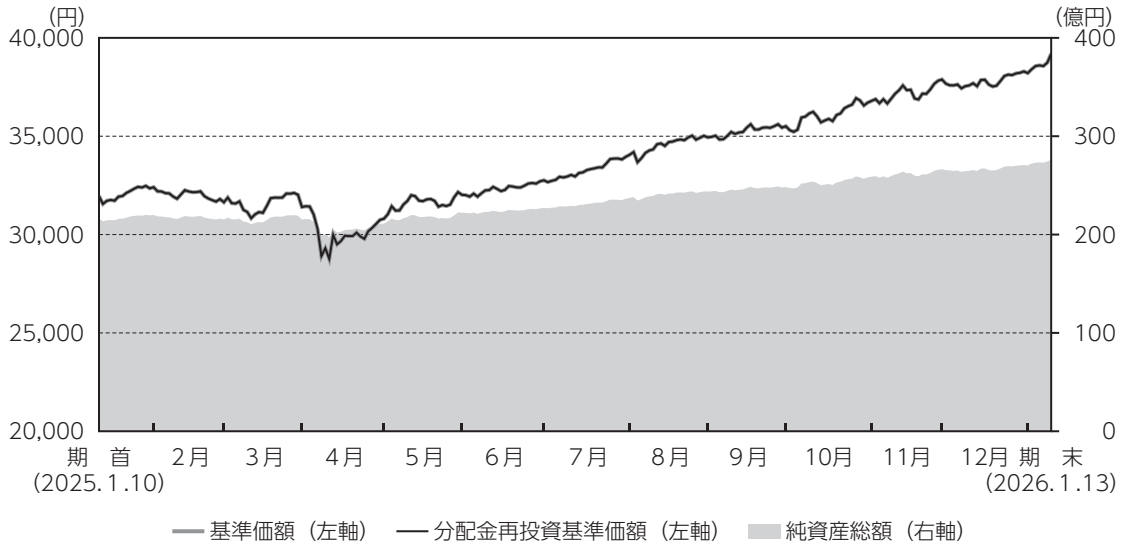
見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法  
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：31,960円

期末：39,190円（分配金0円）

騰落率：22.6%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資した結果、主に国内株式市況と国内リート市況の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

#### 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ好配当日本株マザーファンド	45.2%	25.9%
ダイワ北米好配当株マザーファンド	14.3%	19.8%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	14.6%	19.5%
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	30.1%	19.5%
外国債券インデックスマザーファンド	10.5%	4.9%
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (BPI)	△6.0%	4.6%
ダイワ欧州好配当株マザーファンド	31.2%	4.2%
ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	52.6%	0.7%

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2025.1.11~2026.1.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	451円	1.331%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は33,855円です。
（投 信 会 社）	(229)	(0.677)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(203)	(0.599)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(19)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	26	0.078	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(16)	(0.047)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
（ハイブリッド優先証券）	(1)	(0.002)	
（投 資 証 券）	(10)	(0.029)	
有 価 証 券 取 引 税	2	0.007	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.001)	
（ハイブリッド優先証券）	(0)	(0.000)	
（投 資 証 券）	(2)	(0.006)	
そ の 他 費 用	7	0.020	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(5)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(3)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(△1)	(△0.002)	税金の戻し入れ、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	486	1.436	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

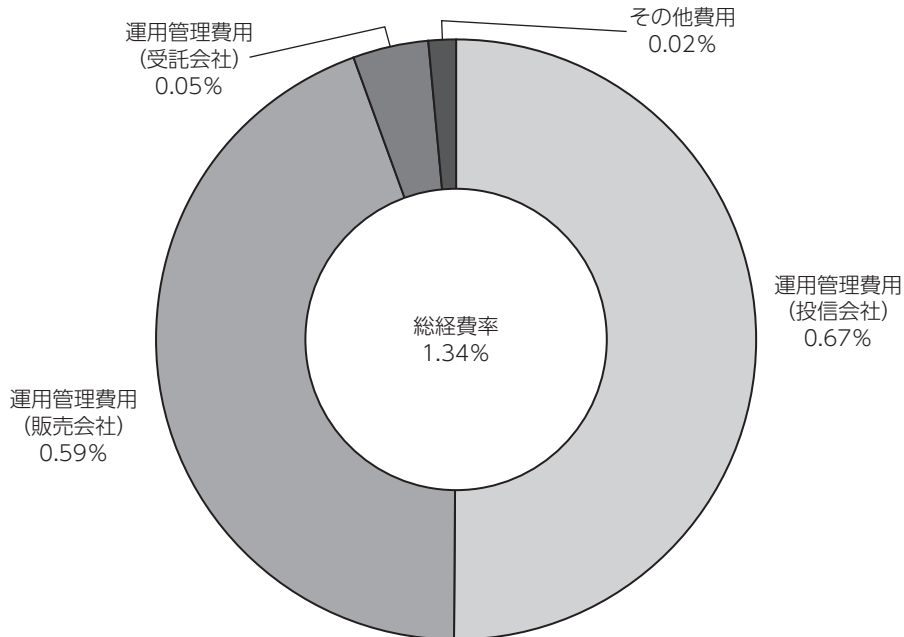
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.34%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2021年1月12日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数は合成指数です。

		2021年1月12日 期初	2022年1月11日 決算日	2023年1月10日 決算日	2024年1月10日 決算日	2025年1月10日 決算日	2026年1月13日 決算日
基準価額	(円)	20,216	24,728	23,715	28,278	31,960	39,190
分配金 (税込み)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	22.3	△4.1	19.2	13.0	22.6
合成指数騰落率	(%)	—	22.9	△4.1	20.8	13.2	22.2
純資産総額	(百万円)	7,237	10,544	12,038	15,653	21,624	27,594

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 合成指数は、下記の指数と配分比率をもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

投資対象資産	指数	配分比率
海外債券	F T S E世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	5%
国内債券	NOMURA-BPI総合指数	5%
海外リート	S & P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算)	20%
国内リート	東証REIT指数 (配当込み)	20%
海外株式	M S C Iコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)	25%
国内株式	T O P I X (配当込み)	25%

(注) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

（2025.1.11～2026.1.13）

6～8ページをご参照ください。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ・外国債券インデックスマザーファンド           | …純資産総額の5%                                    |
| ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I） | …純資産総額の5%                                    |
| ・ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド    | …純資産総額の20%                                   |
| ・ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド   | …純資産総額の20%                                   |
| ・ダイワ北米好配当株マザーファンド            | } …3ファンド合計で純資産総額の25%<br>（各地域の時価総額に応じて配分します。） |
| ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド            |  |
| ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド    |  |
| ・ダイワ好配当日本株マザーファンド            | …純資産総額の25%                                   |

## ■外国債券インデックスマザーファンド

## ■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I）

## ■ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド

## ■ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド

## ■ダイワ北米好配当株マザーファンド

## ■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

## ■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

## ■ダイワ好配当日本株マザーファンド

9～10ページをご参照ください。

## ポートフォリオについて

(2025.1.11~2026.1.13)

### ■当ファンド

当ファンドは、各マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行いました。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、以下の標準組入比率をめどに投資を行いました。

・外国債券インデックスマザーファンド	…純資産総額の5%
・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	…純資産総額の5%
・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	…純資産総額の20%
・ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	…純資産総額の20%
・ダイワ北米好配当株マザーファンド	} …3ファンド合計で純資産総額の25% (各地域の時価総額に応じて配分しました。)
・ダイワ欧州好配当株マザーファンド	
・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	
・ダイワ好配当日本株マザーファンド	…純資産総額の25%

### ■外国債券インデックスマザーファンド

### ■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）

### ■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

### ■ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

### ■ダイワ北米好配当株マザーファンド

### ■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

### ■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

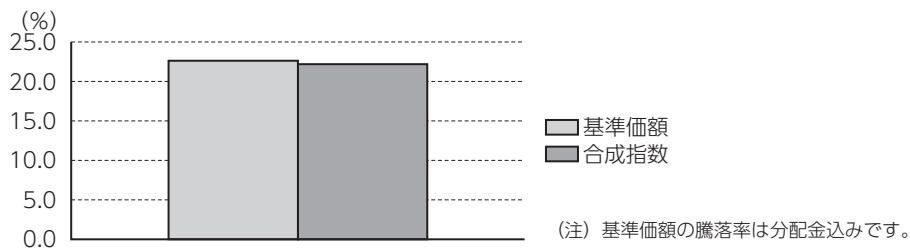
### ■ダイワ好配当日本株マザーファンド

} 11~12ページをご参照ください。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（合成指数）との騰落率の対比です。



当期  
(2025.1.10~2026.1.13)

## 分配金について

当作成期は、確定拠出型年金向けファンドであることを考慮し、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年1月11日 ～2026年1月13日	
当期分配金（税込み）（円）	—	
対基準価額比率（％）	—	
当期の収益（円）	—	
当期の収益以外（円）	—	
翌期繰越分配可能額（円）	29,190	

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配可能額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

※なお、投資信託約款上の分配対象額は、上記分配可能額のうち経費控除後の配当等収益等です。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- ・外国債券インデックスマザーファンド …純資産総額の5%
- ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I） …純資産総額の5%
- ・ダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンド …純資産総額の20%
- ・ダイワJ - R E I T アクティブ・マザーファンド …純資産総額の20%

- ・ダイワ北米好配当株マザーファンド
- ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド
- ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド
- ・ダイワ好配当日本株マザーファンド

…3ファンド合計で純資産総額の25%  
（各地域の時価総額に応じて配分します。）  
…純資産総額の25%

- 外国債券インデックスマザーファンド
- ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）
- ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド
- ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド
- ダイワ北米好配当株マザーファンド
- ダイワ欧州好配当株マザーファンド
- ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド
- ダイワ好配当日本株マザーファンド

14～15ページをご参照ください。



## お知らせ

### ■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

---

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（設定日：2006年1月12日）	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記の各マザーファンドの受益証券
	外国債券インデックスマザーファンド	外国の公社債
	ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	内外の公社債等（各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。）
	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
	ダイワ北米好配当株マザーファンド	北米の金融商品取引所上場または店頭登録の株式およびハイブリッド優先証券（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ欧州好配当株マザーファンド	欧州の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	アジア・オセアニアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ好配当日本株マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）
ベビーファンドの運用方法	主として、マザーファンドを通じて内外の公社債、不動産投資信託証券および株式に投資を行ない、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

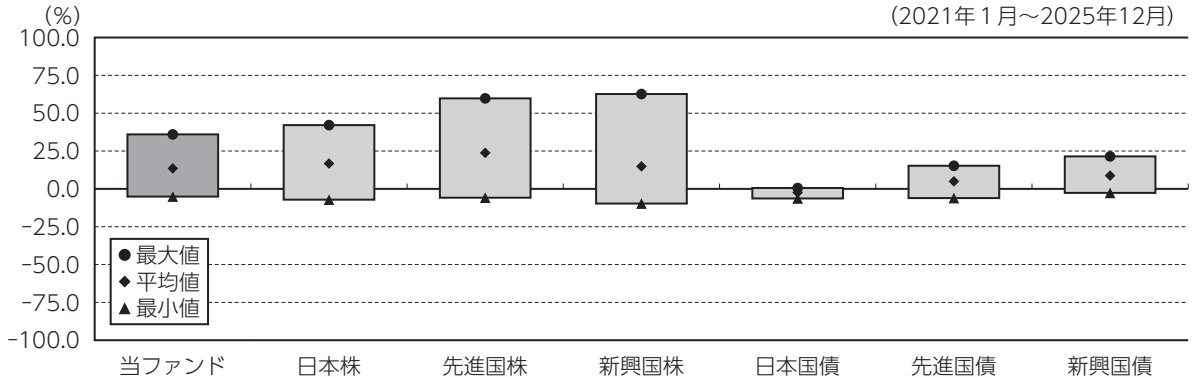
※配当込みTOPIX（本書類における「TOPIX（配当込み）」をいう。）の指数値及び同指数に係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有する。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負わない。当ファンドは、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負わない。

※NOMURA-BPI総合指数の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及び同指数に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

※FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	36.0	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
平均値	13.5	16.8	23.8	14.9	△2.4	5.0	8.8
最小値	△5.1	△7.1	△5.8	△9.7	△6.3	△6.1	△2.7

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



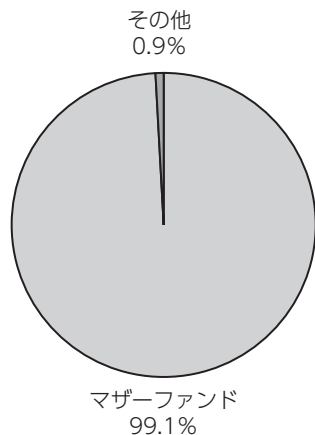
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

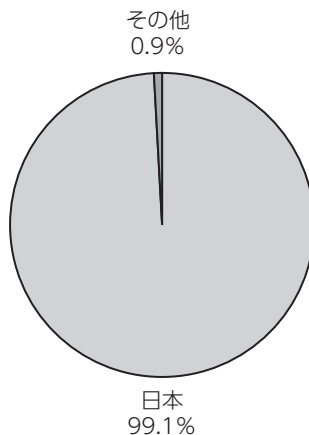
### 組入ファンド等

	比 率
ダイワ好配当日本株マザーファンド	25.9%
ダイワ北米好配当株マザーファンド	19.8
ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド	19.5
ダイワJ-R E I Tアクティブ・マザーファンド	19.5
外国債券インデックスマザーファンド	4.9
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I)	4.6
ダイワ欧州好配当株マザーファンド	4.2
ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	0.7
その他	0.9

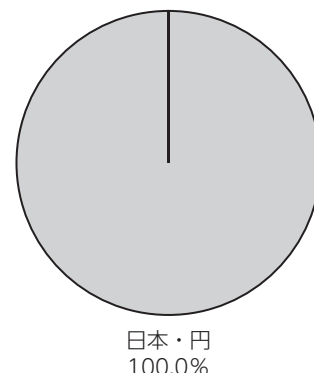
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2026年1月13日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	当 期 末
	2026年1月13日
純資産総額	27,594,962,350円
受益権総口数	7,041,299,468口
1万口当り基準価額	39,190円

※当期中における追加設定元本額は971,685,316円、同解約元本額は696,644,690円です。

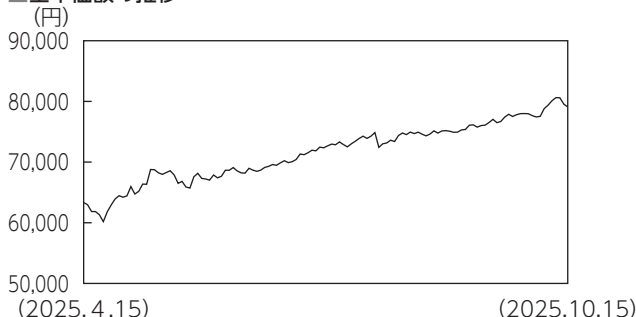
※組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

- ◆**ダイワ好配当日本株マザーファンド** (作成対象期間 2025年4月16日~2025年10月15日)  
36ページをご参照ください。

## ◆ダイワ北米好配当株マザーファンド（作成対象期間 2025年4月16日～2025年10月15日）

## ■基準価額の推移



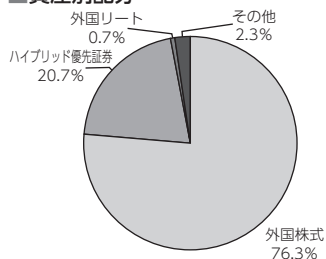
## ■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料	5円
(株式)	(3)
(ハイブリッド優先証券)	(2)
(投資証券)	(0)
有価証券取引税	0
(株式)	(0)
その他費用	7
(保管費用)	(7)
(その他)	(0)
合計	13

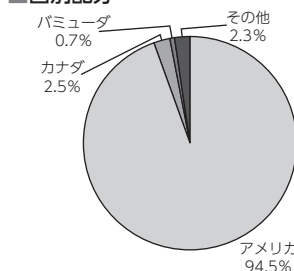
## ■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	5.7%
APPLE INC	アメリカ・ドル	5.2
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	4.7
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	3.9
META PLATFORMS INC CLASS A	アメリカ・ドル	2.6
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.5
BROADCOM INC	アメリカ・ドル	1.9
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ・ドル	1.6
TESLA INC	アメリカ・ドル	1.5
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	1.3
組入銘柄数	210銘柄	

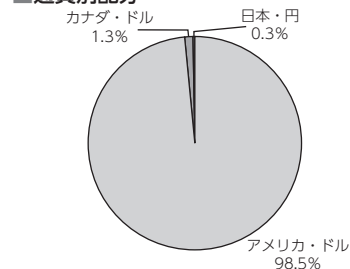
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

- ◆**ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド**（作成対象期間 2025年3月18日～2025年9月16日）  
22ページをご参照ください。

大和アセットマネジメント

---

Daiwa Asset Management